

# 2017年度は JICA北陸 25周年!!

皆さまのおかげをもちまして、JICA北陸は2017年度で、なんと、設立“25周年”を迎えます！  
大きなイベントだけでなく様々な、記念となるイベントを開催予定です！  
次回のJICA北陸's World (夏号) でもお伝えしたいと思います！  
どうぞお楽しみに!!



## 出発ボランティア

いっぺらっしやい~

福井 → (派遣国) ベトナム  
(職種) 作業療法士  
竹澤 藍子さん

作業療法士としてベトナムに派遣予定です。期待も不安もたくさんありますが、現地の人の生活を支えられるよう、頑張ってください!

## 帰国ボランティア

おかえりなさい~

- 山本 康夫さん (福井県越前市) ケニア / 青少年活動
- 青木 伶奈さん (福井県永平寺町) モンゴル / パレーボール
- 本宮 万記子さん (富山県富山市) ケニア / 環境教育
- 吉井 雅恵さん (富山県高岡市) セネガル / 看護師
- 清水 宏さん (石川県野々市市) メキシコ / 機械工学
- 山田 進一郎さん (福井県あわら市) ウガンダ / 数学教育

## 派遣中ボランティア

がんばって~

富山 → (派遣国) カメルーン  
(職種) コミュニティ開発  
南 祐太朗さん

Bonjour! (こんにちは) カメルーンの人々が、現状より少しでもゆとりのある生活を送れるよう、これまで培ってきた全ての経験をつぎ込みます。自分が帰国した後も、持続可能な活動を住民とともに作り上げたいです。

派遣中ボランティア

**富山県** 高岡市 4名、富山市 7名、滑川市 2名、小矢部市 1名、黒部市 2名 **合計 16名**

**石川県** 金沢市 6名、小松市 2名、野々市市 1名、七尾市 1名、白山市 1名、かほく市 2名、輪島市 2名、加賀市 1名 **合計 16名**

**福井県** 越前市 3名、小浜市 2名、坂井市 1名、福井市 3名、大野市 2名、越前町 1名 **合計 12名**

# 春 JICAボランティア 募集がはじまります!

いつか世界を変える力になる。  
青年海外協力隊  
ユニア海外ボランティア

● 説明会日程 ●

開催日	開始時間	開催場所
3月18日(土)	13:30	サンシップとやま(富山市) JICA名物講師によるネパール語模擬授業
3月19日(日)	13:30	福井県国際交流会館(福井市) JICA名物講師によるシンハラ語模擬授業
3月20日(月・祝)※	13:30	KKRホテル金沢(金沢市)
4月2日(日)	13:30	JICA北陸支部(金沢市)
4月15日(土)	13:30	ウイング・ウイング高岡(高岡市)
4月22日(土)	13:30	福井大学 文京キャンパス(福井市)

参加無料 予約不要 入退場自由

**スペシャル企画**

永島昭浩さんがゲストでやってくる!

※3月20日(月・祝)はスペシャル企画として元サッカー日本代表で、スポーツキャスターとしておなじみの永島昭浩さんをゲストとしてお招きしたイベントを開催します! 永島さんは、昨年、スーダンとラオスを訪問し、現地の子ども達を対象としたサッカー教室やJICAボランティアの活動視察などをしてこられました。その時の体験談を中心に「スポーツと国際協力」についてお話を伺います!

**3月20日の説明会のみお申込みが必要です!**

【お申込み先】  
JICA北陸 ボランティア事業担当/坂  
TEL : 076-233-5931  
E-mail : Saka-Yosuke@jica.go.jp

皆さま、お気軽にご参加ください!

## Q1. サモアでのホームステイの生活はどうでしたか?

ホームステイの家族はキリスト教を信仰していて、毎日朝3時か5時、午後3時、夕方7時と食事前には必ずお祈りし、日曜日は白い服を着て教会に行くのが習慣でした。朝のお祈りの時に朝日が差し込む中でお祈りしている姿は美しく感じました。天気の良い日は、一緒にビーチに行きました。サモアのビーチはとてもきれいなモアナ色(=青色)をしています。雨の日は、雨樋から落ちてくる大量の水をシャワー代わりにして身体を洗いはじめたのには驚きました。

サモアに来て3か月になります。毎日とても暑くて体力を奪われ、お昼寝ばかりしていましたが、最近やっと一日中起きていられるようになりました。そして、散歩も始めました。歩いていると話しかけてくれるサモア人もいます。“ファレ・オ・ロア”という日用品を売っているお店で出会ったサモア人の家に毎週水曜日にご飯を食べに行っており、2週間に一度はそこで日本食を作っています。

青年海外協力隊員 田畑 梨杏里さん

石川県・七尾市出身。職種は障がい児・者支援で、派遣国はサモア。高校生の頃から海外に住んでみたいという夢を持ち、青年海外協力隊に参加。

ホームステイの家族と巻き寿司作り

# 梨杏里がサモアに行くって Really? 02

派遣前から帰国まで JICAボランティアを追う!!

このコーナーでは青年海外協力隊として2016年10月にサモアへ出発した田畑梨杏里さんの活躍する姿を追っていきます。今回は第2弾となる生活編をお届けします。 ... 生活編 ...

## Q2. サモアでの田畑さんのお気に入りのスポットはありますか?

“ピウラケーブ”という天然プールが気に入っています。飛び込みをしたり、洞窟の奥その小さな穴をくぐって反対側のプールに出たりと、楽しく遊べます。プールの前には海が広がり、海と淡水のどちらも味わえる場所です。タウンから車で1時間くらいかかるので、頻繁には行けません。もう一つのお気に入りのスポットは“BSL”という文房具屋さんです。そこで日本で読んだことのある絵本のサモア語バージョンを探して読むのが楽しいです。お店が忙しい時はラッピングなどのお手伝いをしています。

BSLでサモア語の絵本を読むのにハマってます

スペシャルオリンピックス サモアのメンバー

## Q3. サモアの文化・習慣で驚いたことはありますか?

男性も女性も正装がビーチサンダルに巻きスカートだということには驚きました。そして、わたしもサモアの正装であるプレタシを作りました。みんなオーダーメイドで作ります。巻きスカートにポケットが欲しいと注文したところ、「ポケットは男だけだ。お前は今日からTama samoa (サモアの男) だ」と言われました。また、壁のない家(オープンファレ)が伝統的な家で、今もたくさんのサモア人が住んでいることに驚きましたが、風通しが良く、サモアの気候にぴったりな家です。

ホームステイ先の兄妹 子供は荷台に乗ります